

小さいのが赤ちゃん



エピソード

初めての戸外遊びで何をしようか見回していたA児。遊びに使えるように摘んであった花に手を伸ばし3つ手に取ると、「赤ちゃんだ」と言いました。傍にいた保育者が「お花、きれいだね」と声を掛けると、3つの中で一番小さい花を指さして「これ、赤ちゃん」と保育者に伝えました。保育者が「これが赤ちゃんのお花なんだね。小さくてかわいいね」と大きさを言葉にすると、嬉しそうに笑い、「これはお父さん、こっちはお姉ちゃん」と言ったので保育者が「どうしてこれがお父さんなの？」と尋ねると「大きいから」と答え、大中小の順にお父さん、お姉ちゃん、赤ちゃんだと教えてくれました。保育者が「大きさが違うからなんだね。面白いね」と共感すると、「これは?」「赤ちゃん」「これは?」「お父さん」と繰り返し保育者と伝え合うことを楽しみました。

保育者の思い

- ・身近な自然物に興味をもてるよう、いろいろな草花を遊びの場に用意しておきました。
- ・初めての戸外遊びでA児が何をして遊ぶうか迷う姿が見られたので、保育者が一緒に遊ぶことで安心して過ごしてほしいと思いました。
- ・花の大きさや小ささ感じて、お父さんや赤ちゃんなどの身近な言葉で自分なりに表現する姿を大切にしたいと考え、思いを言葉にして受け止めました。

子どもの育ちや学び

- ・興味をもった花に自分から触れていました。
- ・花の大きさの違いを感じ、身近な言葉で表現していました。
- ・保育者と一緒に、安心して遊ぶことを楽しみました。

家庭だったら・・・

道端に咲いている草花も子ども達にとっては魅力的なものです。登降園時に見たり触れたりしてみると、子どもの素敵な表現が聞けるかもしれませんね。